

**北の物販倶楽部
謁見音声 書き起こし資料**

2016年2月26日 謁見収録

はじめに

◎【推奨環境】

このレポート上に書かれているURLはクリックできます。できない場合は最新のAdobeReaderをダウンロードしてください。（無料）

<http://www.adobe.co.jp/products/acrobat/readstep2.html>

◎【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。下記の点にご注意戴きご利用ください。

- ・このレポートの著作権は『北の物販倶楽部』に属します。著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- ・このレポートは秘匿性が高いものであるため、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等することを禁じます。
- ・著作権等違反の行為を行った時、その他不法行為に該当する行為を行った時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行う等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行う場合があります。
- ・このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- ・このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- ・このレポートを利用することにより生じたいかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

北野会長：

あと何名ぐらいなの？

真田孔明：

今回少ないんですよ。

北野会長：

そやる？笑バンコク（笑）

真田孔明：

みんなまだそういうモードじゃないんで。（笑）今回は、逆に人数・・・でもあんまり大人数よりいいですよ、小回り利いて。

北野会長：

5～7人ぐらい？

真田孔明：

明日サッチェルが来て、あとはO君っていつも質問をいっぱいしてくる固い感じの、あとはNさんとTさん。

北野会長：

ほ一、もう6、7人おるやろ？それだけで。

真田孔明：

あとTさんがパタヤだけ。

北野会長：

だれ？

真田孔明：

Tさんがパタヤだけ。

北野会長：

Tさん。やっぱいつきてもタイは動かんね車が、スクンビットからここまで来るのに下手すりゃ2時間かかるそこやんね。

真田孔明：

そうですね。

メンバー：

なんかスムーズに行きましたよね。

真田孔明：

今日はちょうど

北野会長：

ほんと？

メンバー：

もっとすごい混んでるかと思いました。

真田孔明：

時間帯早かったですからね。

北野会長：

もう空港へ向かう車全然動かないからね。バツリ止まって。

真田孔明：

明日明後日どういうところディナーがいいですかね？近くにしますか？みんなでそのあとに集合して・・・

北野会長：

あードシュタニで集まって。

真田孔明：

ドシュタニのなかにもいいレストランありますけどね。

北野会長：

あ、ほんと？そんならあしたはドシュタニで、んで明後日はこん中にも・・・

真田孔明：

あ、まだあるんですね？

北野会長：

食べ物屋はあると思うから。

真田孔明：

じゃ明後日はドシュタニ集合、明後日こっちで。あと今回パタヤ移動は車用意しちゃっていいですよ？

北野会長：

うん。何人ぐらい行くか知らんけども

真田孔明：

7人でいくみたいな感じです。タイ3,4年前何回かきてたんでどういうとこか知っちゃってるんですよ 笑

北野会長：

あの一そうやね。やっぱ会社の数たくさんつくって、これぐらいの年になったらまあ12個作れば1時間ごとに退職金もらえるシステムやから、退職金がね一番所得税が安い、8%。15,6年やるときやもう860万ぐらいまで無税やからね。だから、いろんな腹でしっとけば絵かけるやろ？昔バカなおじさんがほでいってたから会社いっぱい一回つくってっていう政策がとれる。あとは、あとは、う〜んやっぱ孔明さんがもうちょっとしっかりせん今回も潰れているから、ね、孔明さんが、どういうの？

真田孔明：

居合抜き

北野会長：

居合抜きじゃなくて。紐をつけてこう下に物を落とすのがあるやろ。あ、バンジージャンプあるやないかい。あれ足縛ってから落とすやろ？落ちるやろ？あれで練習せんこの会は潰れるよこのままだったら、ちょっと資金止まったらみんなほとんど停滞前線でこう動かんようになってしまうやろ？

メンバー：

追証かかりました

北野会長：

ほんとう？

真田孔明：

買いで入ってましたからね？

メンバー：

そう、200万くらい入れられたからなんとか持ちましたけどあれ以上下がったらもうお手上げでした。危ないところだった。やっと30%まで回復した。

真田孔明：

あれからでも、これからまだまだ大暴落しますかね？

北野会長：

うーん

真田孔明：

一説だと一万までいくんじゃないかと言われてるんですけど。

メンバー：

あんまり上がりそうな空気ないですね。

北野会長：

うーん

メンバー：

ないね

北野会長：

やっぱほ、株ってのは上がってるときはそらそらそらってやっとなるやろ？ところが下がったと
きってのは心理的にキツイやろ？やっぱそこが、資金の勝負そんな感じしたやろ？

真田孔明：

多分株をちゃんと理解してないと資金あったらあるだけ突っ込んでると思うんで、薄切り薄切
りの意味を本当に理解しないと・・・

メンバー：

まだ資金があれば・・・

真田孔明：

でも資金あったらあるだけでやってますよ。そのレベルで。買いも。だって会長の周りもみん
な買いでやってたんですものね？バブル崩壊の時・・・

北野会長：

そうやね。

真田孔明：

資金いっぱい何億何十億とか。

北野会長：

だからドカーンとやられると、ね、でもうちの会はまだ飛んでる人はいないやろ？

メンバー：

ちょっとやばい。

北野会長：

いや、そこなんやて。一番株の面白いところっちゃうのは。やっぱしこうポケットに紐つけといてさ、携帯電話をこうぽんと離すような感じがないと生き残れないよ。そうやる？どっこいしょどっこいしょいうて右肩上がりなら今までのやり口は通じるんやけど、今度は右肩下がりになったときに対応ができんやて。まあおれは反対やから、じーっと獲物を探しとるタイプやる？それでもうあんたたちは雰囲気的にわかると思うんやけど下りを待っとるやつやから。

真田孔明：

でもある意味みんな資金が大きくなる前に10年に一度の大暴落きて幸運だと思うんですよ。みんなそこまで何億とかでやってないじゃないですか。大きくても一千万、二千万、三千万とかそんな、これ大きい資金で来ちゃってたらもうアウトですよ。もう人生取り返しつかないですよ。

メンバー：

一応40は切らないようにやってたんだけどダダダダダときちゃうとどうしようもない。

北野会長：

やっぱわしもね、こないだ考えとったんやて。どういって自分がいつもやってるんやけど、ハワイで一生懸命こう刀を置いとってみんな何もわからんだし。

真田孔明：

買いでつかみまくってるとこれやる資金がなくなっちゃうから・・・結局、信用でつかみまくってると急にバンと暴落きちゃうと。だから普段薄切りじゃないといけないですよ。

北野会長：

だからとることを、下りを待っとるわけでない登りを待っとるひとばかりやったから、まああんときに下りやってるとね、はまってしまうし。

メンバー：

それが怖くて・・・

北野会長：

でも本当はね同じなんよ、リスクは。

メンバー：

そうですね。なんかこう感覚的に売りで入っててドンと上がられたらお手上げになりそうな気がして。

真田孔明：

前僕それやったからな笑

北野会長：メンバー：

笑

真田孔明：

常に僕が言い出したことの真逆をやっとくと必ず勝つんで。笑

北野会長：

孔明さんだけじゃなくてOもさ、一人で嵐を起こすいう感じやろ？だからなんか怖いひとなんやがじゃの一。

真田孔明：

あのままでも持ってたなら普通に勝ってたのに。

北野会長：

まあそこをこれからどうコントロールできるかが・・・

真田孔明：

今回塩付いたひとが生き残ることができれば、もう分かりますよね？買いは薄切りだっていう意味がね。

北野会長：

いや、生き残るのはそんなにかい資金でやってないから、ね、やっぱおれは大丈夫やと思う。あれ、ようは8000円から21000円ぐらいまでいっててわけや。だだだーと。ここでドーンと一発きてるわけや、15000までだからここがでかいわけよ。だからこれを会得せん限りは生き残りできんわけや、ほんととはっきり言えば。いやいつも今みたいに陥るわけや、一緒のことやとれば。

真田孔明：

そうですね。

北野会長：

だから、上がりってのはもうおそく見えてしまってると思うんやけど、3円上がった10円上がったというがやちゃ、上がっていくときは。んで一回下がって次上がっていうとこやから、結局日かかったり見とってなんとなくこうゆっくりした感じ、ね。ところが辻斬りを一発かまさんなと思って見とるやつは、どこで下がんかばっかなんやて、あんたの友達もなんかそれ。

真田孔明：

そうそうでも彼ももう2、3年待ってたって言ってましたよ。ずーっと我慢して。

北野会長：

そうやる？わしもだから結局ほ毎日チャラーンやっても大して抜けんやて、だから食事代は抜けるんやて。結局でかいとこの、例えば上海行った時にこれから上海相場は面白いなんてバカなことを言っとらあがか、あんだけ急に上がれば、山高ければ今度は谷がくっから、って言うところを狙っとるわけなんやけど。だからここはやっぱ先生が指導をうまいこと、ね。嵐きた時にどんと一発当てると「あ、孔明さんもああやったんやから、簡単や！」とムード悪くなったらやっぱり売りに行かんといかんというのがわかると。売りは取りやすいんやけど、無理に風を作ろうなんてのは、おれはそこはだから毎日の日々の動きが。

真田孔明：

普段見ていないといけませんよね。だから普段ずーっとみることに耐えられないといけませんよね？

北野会長：

いや、今は携帯電話あるから。昔だと携帯電話ないからやっぱ難しかった。昔はね、上がり一本やった、上がり一本。例えば昭和50年から63年までダウが一日千円、二千元上がって普通やなど。こういうような時期。今全然ちがうから。

メンバー：

そのころって売り買いの手数料ってどのくらいだったんですか？

北野会長：

売り買い3%やったわ。税金が20%やったから。だからネットの時代になったから。

真田孔明：

めぐまれてるわけですよね。

北野会長：

ものすごい恵まれてる。

メンバー：

フィリピンの株がなんかそういう感じだったという話を聞きつけて、今証券口座を開いたとこで

真田孔明：

フィリピンももう撤退しましたよ、彼ら。フィリピンでずっとやってたんですよ、僕の友達。

北野会長：

撤退したというのは？

真田孔明：

もうこれ以上上がんないし、あと売りがないと。

北野会長：

あ！空売り規制がかかるとるんや？

真田孔明：

空売りがないんですよ、基本的に。

北野会長：

ないの？

メンバー：

シンガポールは空売りが解禁になるような話をちらと聞いたんだけどどうなんでしょうね？シンガポールでやりたい。

北野会長：

あそこも？香港も・・・

真田孔明：

はい。ないです。日本ですごいですよね？やっぱりアメリカと日本ていうのは。

北野会長：

やっぱりおれは日本にいないとあかんいうことやな。

真田孔明：

アメリカも本場ですよ。

北野会長：

ここがね、ビビり始めると空売りもできんし、やっぱり資金余裕と。で今例えば、あんたさっきうまいこというたやないか。今のムードが嫌なムードやいうやろ？それが売りのモードやちゃ

真田孔明：

この落ち込んでるところ・・・みんなが。

北野会長：

簡単に言えばそういうことや、だからそれがもう最近は身にしみとっとやがちゃ。あ、こういうなんとなく心の中で明日買おうかな？と思ったら、不安材料が大きすぎるっっちゃうのは売り時、ね？んで携帯電話を見とってさ昨日の先物の売りが夜増えてくやる？今日増えるかな？と思った瞬間に売りかけとるんやて。そういうことばっかしとるんやて。だから売りは、孔明さんドカーンと行ってしまうからすごいはいんやて。だから寄り付きで、もう手仕舞いして知らん顔して、あとはまあみなさん戦争してください（笑）

真田孔明：

って一番最初に戦争から逃げて。

北野会長：

そうそう、一番最初に戦争から逃げる。いつもおれはそう、はえんやてだから。

真田孔明：

今回もこの数日間にいきなりバンバンって寄り付き上がっちゃってますもんね。あれ売りで入ってたら危ないですよ。

北野会長：

そやる？

真田孔明：

うーん怖いですね。会長は最近売りは入ってなかったんですか？

北野会長：

はいらんが。

真田孔明：

うわー。すげー。（笑）すげー。

北野会長：

なんでかいうたら、こう、データが、データ見て見られ。ね、データ見たら、入れとるんやろ？先物のあれ。

真田孔明：

入ってますね。はい。

北野会長：

入れとるやろ？だからあれをみとれば、ほとんど出てくるんや。だからそういうときにはあんまり無理して戦争にいかんことなんや。だからワシの基本は生き残ることやと、自分で言うと

るほどやから、だから深追いは絶対せんようにしとるんやて、深追いするとね、結局やられるのは自分なんやて。ほでね戦争に入るとね何がひどいかいうと、戦争に巻き込まれるがやてね。「お前反目うったやろ！」とこう、意地かかるやろ？今日はそれでもえらい、今日1510枚売りかかっとるがに、売りが余計あるがね。立っとるのが。

真田孔明：

あーこれ海外のあれとの差がですよ？外国人投資家ですよ？これ。

北野会長：

だから外国人が、なんかここ最近アンバランスやろ？動きが。

真田孔明：

最近でも外国人が売り建ててるのに上がってたりするんですよ。

北野会長：

そうそうそう。それはなんでかいうたら日本の投資家を買っとるがか、日銀が買っとるがかそりゃわからん。特に最近は日銀さんが売ったんやもんで、おれもまたビビってしもて。やっぱ日銀に全部食われたら、それは怖いやろ？

真田孔明：

今日も海外勢はこんなに売ってるのにこんなに上がっちゃったんですもんね。

北野会長：

今日あがったの？結局

真田孔明：

はい、あがってますね。

北野会長：

だからあんまし脇は甘くしとかれん。「海外勢が1510枚」なんてほとんど暴落やないか。

真田孔明：

売ってるのにあがってるわけですもんね。

北野会長：

ということはブラックのおじさんが、えっさえっさいうてまた儲けたはんなんから買っとるんやないかとおれ思うんやて、今日もしあがっとるんやったらね。

真田孔明：

外国人戦っちゃってるんですよ。もう。

北野会長：

そうそう。だから今度外国勢が食われとるんや、おじさんに。

真田孔明：

このマイナス1780枚の時もあがっちゃってますもんね？日経平均が。

北野会長：

そうやる？

真田孔明：

はい、昨日も中国が大暴落したじゃないですか？6%とか一日で。なのに日経が大きく上がりましたね。

北野会長：

だからおじさんが、ヒゲのおじさんだけやるがね、そんな恐ろしいことを十分にできるのは。

真田孔明：

黒ひげ（笑）

北野会長：

黒船でない、黒ひげやないかいね（笑）だから、この雰囲気が悪いっていうのは、うちのメンバー誰もまだ死んどらんいうことは、雰囲気はわかってきとるんやないかなと。その下がるいう雰囲気がね、必ずあるやる？例えばこのデータがおかしい。原油安いとかテレビでなんかえらいいうが。こういうバカな時に、必ずそういう時下がるやる？そういう時に上がるいうてもバッカーンとはいかんが。ただ、今年はね、怖い。おれこの前だから相場つかむのに朝3時やら4時まで考えたもん。これデータはおかしいけど、孔明には400円ぐらいまではドカンといくやる？みたいなことというて書いとったけど、あれちょうど400円ぐらいで止まったけど。

真田孔明：

ぴったり420円。

北野会長：

あっこまで読みきるがに、あんだけの酒飲み飲みデータ見てさ、かーっとうね読みきるのにひどいんやて。最近ね相場読みきれんだらもう絶対入らんで、おれは恐ろしいから。いや、恐がりなんやて。だからすぐとんずらこくんやて。

真田孔明：

もう年初に勝ち逃げたし。

北野会長：

うん。そんな勝つとるがに無理して戦争に行つてさ、手でも切られてたら損やる？

真田孔明：

あー。ちょっとでも痛手あったらムカつくしみたいな（笑）それができるのがすごいですよね。普通買っちゃったら押しちゃいますよね？どんだね。

北野会長：

いや、だから生き残るということはそういうことなんやて。ね、えげつなく言えば。ただ、皆さんは仕事は仕事でやるとるんやから、別に相場でそんなに勝つ必要はないんやて。仕事は仕事でビジネスやるとるんやから。そういう気持ちでゆとりをもって。

真田孔明：

ゆとりをもってやらないといけない。

北野会長：

うん。だから「ちょっと上がり相場やな」とおもったら、やわやわ、ちらちらとこう張って、「張って売る、張って売る」やからねおれの場合は、せいぜい。ところが、やっぱおれもね一緒のことになる、本当は。「買って売る買って売る」やったらそのうち「買って買って買って」って続くと、「今日売らんと明日売ろうかなあ？」なんていうて。（笑）わかる？明日も上がるんじゃねえかなと・・・こういうこと思う。抱えるやろ一日。そんで次の日例えば3円上がって、13円上がったと。「いやあーもう一日待とうかな？」なんて思い始めると、だいたいくる。

真田孔明：

そうですね。ほんとその繰り返ししたよね。

北野会長：

そやる？

真田孔明：

一円で抜けない・・・

北野会長：

心の弱さが、もううちでも43年やっててもこんなやからね。欲たましいんやて、要は。

真田孔明：

だから瞬時に抜かなきゃならないんですよね？一円でも。抜けたものばっかだったのに、本来は・・・一時期は。でも持ちちゃうんですよね。

北野会長：

孔明さんもあとでほ、多銘柄よりも一本に絞って女みたいに抜かなとおもって、人間ちゃそんなもんなんやて。あれもこれも手をつけとらんと、やっぱここはTやと、Nやと。こうやり始めるとだいたい食われる。

真田孔明：

だからいろんなものをサッサッサッと、売ったら離してみたいな。

北野会長：

そう、あんときが一番儲かるんやて。ところがあんときは仕事せんなんらんしそこに神経いれんなゆうてひどいやろ？そこがだから株の難しいところ。おれは絶対本当にそう思う。

真田孔明：

暴落を今の時期の味わえてちょっとこれはある意味、トータル見ると幸せだと思うんですよね。これ、規模大きかったら取り返しつかないですよ。追証まだ200万円だったらいいですけど2000万円だったらどうします？追証が。

メンバー：

どうにもなんない。（笑）

北野会長：

ワシのところでだいたい2億ほどずつやったんやて（笑）ね？時期早かったんや。いや、昭和50年から63年越えて平成元年なって上り相場やったんやてずーっと。ね？ここでドチャンってやられたから、ほって信用建てさくっとったわけやないかいお前。

真田孔明：

あー信用取引をやってて。

北野会長：

全日空が10万株とかさ、もう派手やからさ。

真田孔明：

派手になってたんですね、そのときは。

北野会長：

もう絶対調やからね・・・体は・・・やっぱ引っかかるわけや。

真田孔明：

会長も最初バブル崩壊のときは追証を経験したんですか？やっぱり。

北野会長：

いや、追証はなかったけど。

真田孔明：

え？なかったんですか？

北野会長：

なかった。

真田孔明：

すげー！

北野会長：

わしはね、口で言うよりもどちらかという結構堅実派やから、おれの友達は10万株単位。
で、おれはまあ1万でええわとかさ。

真田孔明：

それがすごいですよね。

北野会長：

みんな一瞬で、一瞬で追証やよ？だからもう会社ガッタガタや。

真田孔明：

現金最初入れるんだけど、もう火の車になっちゃうんですね？いれても入れても。

北野会長：

そう、ドンと一発来たときにあれで追証かかって、ね、ふらふらするやろ？ここで手仕舞いで
きんがや。ドーンってやられたらもう、飛んでイスタンブールやでそんなもん。それがやっぱり
怖い・・・本当に。

真田孔明：

会長それやったことないってのがすごいですね、最初から。

北野会長：

おれはね、そこはね、大ばくちは絶対打たんがやて。

真田孔明：

昔から？

北野会長：

うん。だからいつも、まあ語録に「生き残るために」。これが一個入っとるから。だから毎日こん人は書いとるやる？「ムリ・ムダ・ムラ」をやめいって、あんた一番よく知っとるはずやないかい。おれより知っとるよそこらへんは。まさか反目打っとるんやなかるうね？そこで（笑）自分で書いていっとることとやっとることをさ（笑）

真田孔明：

いえいえ（笑）

北野会長：

人間てのはさ、そういうとこあんがやて。

真田孔明：

まだその感覚がまだ。底だと思って買ったのが底じゃなかったみたいな。

北野会長：

そうそう。そういうことはいっぱいあるよ。んで、あのね3人やからハッキリ言いやすいから言うけど、痛みを受けた株はずっと持っとると。売らんゆうたやんおれは。なんでかいうたらさ、姉ちゃんの前で適当に一万株買うた何てやつは永遠に上がらんがね、あれ。

真田孔明：

へー。永遠にあがらない・・・

北野会長：

永遠にあがらないんやて。本当に。お前あれから何十年経つとると思ってもほんとに上がらんのやて。だからね、おごる平家も久からずいうやつあるやん？昔から。あれは絶対にダメやわ。いや本当に。これだから残っとる銘柄見ると思い出があるが。ほってね、これ嫌な話やけど、儲かった株っていうのは売ってしもとっからさ、ないわけやん。だから残ってるやつみんなそいやがね。ね、だからそれは配当金くるんやから、ガツガツせんでもええと。こういうふうにおもとるんやけど、これはね戒めに持っとるとね、ものすごく効くよ。見るたびにそれ残っとってみいお前ホンマに・・・あれから25年も経ったかなんて。

真田孔明：

25年上がらなかつたらどうしよう（笑）

北野会長：

いや、25年やったんやて本当に。だからおごる平家も久からずいうやっぱようまい句やったんやわ。

真田孔明：

東電25年上がんなかったらどうします？

メンバー：

まずいね、現物ならいいけどね。

真田孔明：

ほんと現物で株買ったら信用は売りでしかやっちゃダメですよ。

北野会長：

そうそう。

真田孔明：

真逆でやっとかないと。ついつい信用枠使っちゃいましたね。

北野会長：

だから信用も、全体の何割まで使えるのか、本当に一時の信用やて増やさんがね。そうせんと長生きできんから。パンパーンとたたみかけにいくと、後で見ると本人がたたまれとお。

メンバー：

(笑)

北野会長：

本当にね、そんなんやよ。本人がたたまれとおがやて。やっぱわしの友達はみんなイケイケの人が多かったから。

真田孔明：

あー信用でガンガンやってて。

北野会長：

信用でガンガンやって、玉は銀行から引いて、会社で。本当は畳み込んだつもりやったんやけど、逆にたたみこまれてしまって一気に10億の借金あっちゃう間にできからね。だからやっぱ長生きしようと思うと資金管理、自己資金が一番大事。んであとは「ムリ、ムダ、ムラ」を絶対にせんこと。あとでね3万円儲かっててもそれでいえば3〜4000円で止めとかんな、いやいや本当に。「今日勝ったからみんなにおごるわ〜」なんていっとるやつはね一番最初に消えていくんやて。いや、本当やよ。人の酒飲んで・・・でもさ、そんな人にね助け舟っちゃあなんがだせんやち・・・本当に。だからこれが株の原理なんや、良い時ほど脇しめとられ。で、悪い時は休む。さっき言ったやん。ちょっとムードおかしいなと思ったら、もう休んで手えださんが。例え一万株でも手えださんたら絶対に米はつかん。かっこ悪い、女とオカマと間違うて手えいれたみたいなもんやからね。だからこれはやっぱ氣いつけとかな。その感覚・・・上がったと

こを売り建てとことかさ。例えば孔明さんがさ、今日来たところで。この株を信用で1000株増えたと、こういうやつをやっとれば死なんがやて。

真田孔明：

そうですね。1000株ちびちび。

北野会長：

そうそうそう。だからちびちびが段々多くなってきたやろ？

真田孔明：

そうですそうです。1日60万抜いたとか。

北野会長：

あっこまできたらもう絶好調やから。あんまブレーキも効かんのやて。

真田孔明：

バブル崩壊時の短縮版をやったわけですね？数ヶ月間で（笑）

北野会長：

本当にね人間ちゃね止まらんよ。

真田孔明：

いやでもまだ取り返しのつく金額だからね、飛んでないですけど・・・まだ、もってるだけなんで。これが億とか大変ですよ？取り返しがつかないですよ。億とかやってたら。

北野会長：

いまはまだ億の話が恐えやろ？これが十億ほどになって動かしとったらもっと恐いよ？そうするともっと慎重にやらんないかん。金さえ金を持つようになったら。億越えたらもっと慎重にならん。1000株ずつ遊んどるとかさ。

真田孔明：

普段はね。逆にね。だからそうなっても大きくやっちゃいけないですよ。

北野会長：

大きくやったらこうドッカーンでもっとやられる可能性があっから、やっぱ三億の銭二億になってもいいわというぐらいの一億ぐらのダブみでやっとらな。例えば三億を玉もっとっからいうて三億の信用でさ。

真田孔明：

やってそうやってそう（笑）やってそうすね！

北野会長：

今回の勉強はおれ一番その勉強じゃないかなとおもう。

真田孔明：

ある意味運がいいと思いますよね。10年に一回が最初に来てるわけでもんね？いきなり、初年度に。まだ一年経ってないわけじゃないですか？6月で一年ですからね。その間に10年に一度が2回もきてるっていう。

北野会長：

おれこないださ、家で嫁に「うちの連中な、才能のあるやつあんまりおらん」ていうたんやて。ほしたら、嫁はんがさ「あんたね、ちょっと頭おかしいんやないか？あんた何年株やっとなんや？」と。あんた結婚してからずっとやっとなんや。そうやて言われて、確かにあんたの文章、嫁はたまに読んどるんや。ほでまだ6ヶ月目やとかいうてゆっとなんやない？それをいうとるわけや。「あんた43年やったあんたとね、孔明さんが一緒に力もったたらあんただのバカじゃねえか」と。確かにそうやって言われるとじゃおれはただのバカなのかなと（笑）いや、ただのバカでもねやっぱ血圧上げとくことあからね、嫁はんよく見とるよね。今日はなんでどうやらこうやらいうとるんやて。それを言葉をきいとるから、ちょっと頭おかしいやないかいと言われたんやけど。でも「そっかあまだ半年やもんな」半年たっておれと同じぐらい力あったらさおれのほうがビビってしまう。あんた何千万儲けるの3時4時まで最近寝んとして勝負しとって、そいでやっとなんやと。そういう言われたら、確かに言われりゃそうなんやちゃね。よかった・半年のもんに追い抜かれとらんで（笑）

真田孔明：

僕の友達の42歳の人でも22からやってるんですよ。20年間やって売りができてるんですよ。

北野会長：

ただね、やっぱ売りは必殺剣やから、よく待ち伏せして、闇討ちやゆうのはそこやがちゃ。ほんとうやってね、浮きをさ見とらんといかん。

真田孔明：

そうですね。1年、2年、3年、5年って。

北野会長：

そうやる？もうひどいんやよ。だからあとね、上がり相場になったらね、肩の力入らんわけや。

真田孔明：

逆にそれが良いわけですよ。上がり相場でみんなが肩の力入れてる時に。

北野会長：

これね、やっぱりあの一発はまるとやっぱそこへ神経がいったらあかん。

真田孔明：

今度フィクションで株のこの剣客の小説かこうかなと思ってて。フィクションだとなんでも書けるのかなあと。事実として書くとやばいけど。

北野会長：

いや、本当はねみんなやって失敗したところやから、ものすごいそれはおれは、人気作になっと思う。

真田孔明：

ああ、今のこの気持ちをね。（笑）

北野会長：

正直に書いて（笑）その中で取った！みたいなことをやっぱ、あの書けるとやっぱそれは話題作や。

真田孔明：

そういえば会長って「剣客商売」っていう小説知ってます？小説とかドラマとか。あれの主人公のすごい剣客にそっくりなんですよ？会長が。

北野会長：

いやおれは口では結構いいことゆっとっけど、そんな全体がきつついわけじゃないからね。株で上手いかなだらずぐ商売に逃げる。んで、商売がちょっといいとまた株ん中に手入れて、どっかでは半年ぐらいやけど、どっかでは見えた日があったんやて・・・どっかでは・・・あんたたちも。だからそこがわかると結構どういうの？なんとなくこれは、前やかさ。ムードわりいからムード悪くなってきたら、これは売りの時期なんやと。こういう具合に理解して、足には必ずロープを巻いてドボンといかにゃあかんよ。ロープ巻かんとドボンといったら下までいってしまうから（笑）そこだけやね。あのTEあたりでもほ、ちょうどわしは投信でも全体が12月の末日で精算せんにゃならん身やから精算しとるやろ？みなさんは精算せんとそのままこういった人がやっぱドボンくるが。あの配当金の高にTEがプラスいくらやとワシんとこやったら3,000万ぐら超えとるわけや。んでそんなときで12月の15日で手仕舞いはとりあえずせんなんらん。で、手仕舞いするやろ？そっから年明けたからってすぐは買わんがちゃね。ここでやっぱ覚えといて。高なったということは、安なるということ。ここね、これだけ覚えとけばね、上海株、上海いったやろ？すごい今上海いい。この前ハワイかなんかの時に上海の株売っとった一生懸命。為替は上がったとる株はまあ利益がとるがやから売っとおがて。なんやったかな、自分でも読めんような漢字の会社を。三万株、これも数字えらいあがとっからって20万売ってるがやて。それとともにドッカンがきたから空売りをやとったわけじゃねんやけど、

持っとる株を、ま、為替がほ16に近いぐらいになっとった。んで株も上がっとる。で一番の要因は、上海はドル建てやったんや、あれドル建てやった。80円90円で仕込んで120円ぐらいになりゃあさ、株は一緒でもさ為替で上がっとる。そういうことがそれも長いこと浮きや浮き。川で魚釣るときましたいうて浮きがさ、ちょこちょこちょこ、あ、これいつも上がったたり下がったりしとるとか。ゴボっといったら魚かかっとるやろ？逆にゴボっと上がったても魚が下からこう持ち上げとるいう感じやないか？こういうのをもしつかむことができれば・・・でもやっぱそれは年数やわ。みなさん、ちょうどいい時期に上がり相場の中で始めたからなんとなく、まあまあ。

真田孔明：

上がりと下がり両方経験できてね、人生すごい一年ですよ？

北野会長：

だから一年の内容すごいよ。今度その会得いうところのレースやから、会得できればすごいんやけども。

真田孔明：

でもやっぱり、最初は買いをちびちびやって、株の基礎を覚えて本当に株って何？って知らない状態からスタートしてるんで。でやっぱ二年目は二刀流でちびちびですよ。売りも買いもこうやないと。もうどっちきてもこの売り買い売り買い両建て両建てみたいな。

北野会長：

確かにそれの方がいいと思うわ。

真田孔明：

でここで三年くらい修行しないとこうはできないと。これはこれでガンときちゃったら大変ですよ。

北野会長：

ガンと・・・おもしろいこと言うね。孔明の話聞くと怖くて話できんわ。（笑）

真田孔明：

二刀流ですよ、当分。

北野会長：

いや、本当はね一銘柄をずっと扱っていくゆう方法もあるんやから。例えばトヨタみたいなやつとかさ、ソフトバンクみたいな上がり下がりでかいやつを、両方立てといて、片っ方例えば下がっても玉はここに残してあるんやから。これは配当金で残っとるんやと、こういう具合に思えばこんな恐いこと一つもねえんやど。よく悩む。例えばマレーシアで車450万買うからゆうて、バーンと両建てかけるんやて、一万株ほどずつ。そしたら、うまいこと上がった時に

売って、今度はここの玉が下がるとこまできて一回手仕舞いするんやて、トントンでもいいから手仕舞いするんやて。でまたここで玉をかけるんやて、で2回入ると車一台手に入るんやて、だから簡単。2口だけ・・・こういうこと。

真田孔明：

その会社からじゃあもらうと。お金を。（笑）

北野会長：

こういうバカな男やからね、真実はあんまり言われんけど、恥ずかしくてね。それはねやっぱり今までうまくいったからこういうバカになったんやけど、本当にそういうことがあるがや、俺の場合は。だから一万株ずつ買ってたらどんどん下がったもんで、十万株までいって十五万株ぐらいまでくだっからね・・・そんな結構あるよ。意地っ張りなんやて要は。でほお、別に潰れる会社でもないし、ゆうて買い始めたのはやっぱ儲けの少ないNEとかNYとかさ、あっこらへんを手がける時はYaとかだいたいやっとなことは一緒や。すーっとあがってってしまうと、次の二点目入れられんがね、今度怖くて。これまだ上がるかもしれんけど、こないだ売ったから下がるんじゃないかな？と思ってたらつらつらつらつらあがってってしもてさ。

真田孔明：

TD・・・930円まであがったときですか？

北野会長：

そう。そういうの結構あるよ。

真田孔明：

800円まで戻ってくんないかな。一回くらい（笑）

メンバー：

820円だったら。

北野会長：

本当？結局やっぱ資金やから。でもね、元々はね、商売やってて儲かった金は全部そこぶち込んで、これね、ただの俺の考え方やけど、きつつい金は株やってても、きつついやて、銀行から借りて株やった人・・・

店員：

すいません。ウーロン茶です。

北野会長：

あんた優しいね。あんなさっきワイン飲んだのにまだビール飲むんか。あ、なんか注文したら？これだけやった？

真田孔明：

豚肉とかも頼んだはずですけどね。焦ってるとき全部悪循環になっちゃいますよね。

北野会長：

あ！あせったら絶対に、だから心が乱れたらまず手を引く。おかしいわからんなと思ったらやっぱ身を引かんと。俺もこないだ見切って410円のところを400円まで踏ん張るゆうて踏ん張ったけど、あんなひどい、考えて銭400万儲けるんやったら考えたくないわ。でもなんとなんく変な動きやったもんで、ずっとこう酒飲み飲み考えとるんやて、ほしたら今度は酒の方が調子出てき（笑）あるよ。そういうのはいっぱい。おれ嫁にさ、「孔明さん6ヶ月ほどしかやっとなんとって、43年のあんたのことすぐわかってどうするのね？」って（笑）そこでやっとなんと返るとるんやて。ということはもう俺自身がもはや脳がおかしんやて。もうあんたたちのことがなんとなんく一生懸命ねやっとなんと、何見とるがかなと。でもよう考えたら嫁がいう通りなんやて。うちの場合は先輩やから、先輩にはたてつかんように「はいはい」ってして。でも、すごいいい年のはじまりで。ここしばらくは休んどっけど、ここしばらくね本当にね見えんが

真田孔明：

へー。会長でも見えんいですね？

北野会長：

見えんが。あの十六日にドカンと上がり下がりしたやろ？ マイナス金利かなんかで。あれから全然見えんがね。

真田孔明：

マイナス金利から見えんが。

北野会長：

こんなん初めてやし、おれの人生にとっても初めてや。で、今度は外人データと反対に動くやろ？ だもんで見えんがやて。

真田孔明：

今日なんかもね、あ、昨日か、中国あんだだけ大暴落してるのに日経が（笑）全然影響なしっていう。あれ多分売りに出した人いるでしょう、大暴落して。

北野会長：

そうやろう？ だから結局ね、見えんがやて。今日でも1530枚も売りにでてて、ほいでまたプラスやったいうてさっきいうてたから、これはもうやっぱし台風の中に飛び込むいう話は嫌でさ。でもでっかいよ、本当、1530枚売りに立っとるんやから、売りが余計オーバーしとるんやから1,000円ほど下がってもいいような相場なんやて。そこがプラスで維持しとるゆうことは、やっぱどっかのおじさんがさ日本投資家がそんなに買い込みでけんやろ？ 桁が違うやろ？

真田孔明：

桁が違いますよね。

北野会長：

おじさんは言えばただの紙やもんね。

真田孔明：

今全部画面が緑ですからね。

北野会長：

そうやる？画面が緑であがるっちゃおかしいんじゃない？

真田孔明：

だから全部あがってるんすよ。今日あんだけ売り込まれてるのに。

北野会長：

あ、今日79円あがったの？孔明のデータとおれのデータと違うんじゃないか？いや、ひろうとるところがちがうんじゃ、これは何ひろうとるん？

真田孔明：

これは今の先物と、上の方が今日の終値で、下が先物のいろんなところですね、対象だったりSGXだったり。

北野会長：

ほんと？おれのはそういうんじゃないくて何枚枚数が売り込まれとるか、というのがでとるんやぞ？

真田孔明：

外国人のはこれですよ？

北野会長：

あーそれ拾っとるんやわ。1500枚うんそやる？それでいままで狂いあんまりなかったんやて。

真田孔明：

大暴落相場のはずなんですよ？これ本当は。

北野会長：

1530枚なんやぞ？1510万株の売り越して書いてあるのに、これであがったいうたら本当に・・・これであがったってかいてある？今日のデータおれのところにでとらんが、上がったか下がったか。

真田孔明：

今日はさっきのページでプラス48円なんですよ。で、今先物はあがってますよね。まだ16320円ですよ。

北野会長：

あ、この15日16日や。1069円あがったゆうやつあったやろ？あれからなんかね・・・

真田孔明：

あの時会長はやられてなかったですか？

北野会長：

あのときに、あがったいうからそのとき売り掛けとったんやて。んで波に半分持ってかれたから、これね一回ドバンと下がってからドーンとあがったやろ？千いくらまで。だから朝一で金魚すくいみたいに早く逃げとったからよかったものの、こんなもんやれとったらお前・・・

真田孔明：

あ、230円の時に。あの230円ぐらいで手仕舞いしたっていうやつですよ？最後は。

北野会長：

そうそうそう。

真田孔明：

それ以降はやってないんですよ？

北野会長：

それ以降はわからんがやて。次の日も340枚売りだしとんのに31円あがるとるんやて。この・・・これ見て。230枚買い越しで赤がでて、218円マイナスなんやでこれ。ほんまこれがわからんわ。40枚で360円プラスやちゃうからね。理解できんやん、おれにしたら。おれの脳では。だからいびつな問題が起きとるがないかなと。

真田孔明：

こういう場合わかんない時はやすむと。

北野会長：

せんが。せんだら一円の傷も負わんから。タバコでも一本吸ってさ、さけられとおて。またわかったらはじめりゃいい。

真田孔明：

両建てでちびちびとかはやるんですか？ちびちびは、そういうのももうやらないんですかね？

北野会長：

最近はまだ暴落ばっか待ったもんで、こないだ下がった時NEまた一万ほど入れとくかと思って入れたんやけど、30円上がるのに一週間や。

真田孔明：

(笑) なんかちっちゃく感じすぎちゃって。

北野会長：

いやいや、それでも30円は道に落ちとらんやろ？

真田孔明：

それ何株ぐらい買ってたんですか？一万株？

北野会長：

一万株。

真田孔明：

じゃあ30万をポンと。

北野会長：

いっとき400円までいったやろ？NEちゃ四百二、三十円までいっとる。でこないだ250円ぐらいまで下がったやろ？で下がったもんで250の時にまた玉いれとけや。ということで、とりあえず一万だけいれとけと。あと儲かったやつは投信に、最近また投信を買っとる。

真田孔明：

あー。今日でも294円まで上がりましたよね。NE。

北野会長：

あ、ほんと？

真田孔明：

はい。NEは復活早いですよね。

北野会長：

だから下りがデカかったんやて。

真田孔明：

でもNYとかは全然戻ってないじゃないですか？今212円ですからね。TDが594円、今日600円までようやく行きましたけどね。ヒットポイント回復しましたね。TD800円まで戻らないかな

メンバー：

NEも残ってるんでね。NE400円ぐらいで持ってるんで。

北野会長：

400円ぐらいでもっててだらだらと下がって250円まできたがけ？

メンバー：

そうそうそう。

真田孔明：

そうかそうか。NE400円だったのが288。

メンバー：

そうそう。

真田孔明：

400円で結構前じゃないですか？

メンバー：

僕が初めてから4~5ヶ月？

真田孔明：

TDとSBだけだ。残ってるの。TDでかく持ちすぎちゃった。

メンバー：

TDは残ってます。

北野会長：

かなりね、あんだけ一人でTD、TDったらみんなね、周りじゅうTDのやちゃねきっと。

真田孔明：

TDもどんないですかね？これまた800円とか。

北野会長：

いやいやそれは長期的には戻るよ。

真田孔明：

長期的には。その前に大暴落がまたドーンてきちゃったらね。

メンバー：

信用が期限があるんですよね？

真田孔明：

期限付きで買っちゃったんですか？僕無期限ですよ。

メンバー：

無期限であるの？あんまりそういうのわかってない。

北野会長：

無期限もあるよ。

真田孔明：

だから金利とられすぎますよ。

北野会長：

3%やないけ？今3%ジャストけ？

真田孔明：

3%。

北野会長：

おれなんか儲かった分全部投信買いにいったるんやて。

真田孔明：

今買ってるのは、あれですかHIC。

北野会長：

HICとACをただ儲かった錢やからつぎ込んでいけと。そういうような感じでやっとなるわけや、博打打ちやの。別にもう金使うこともないし、だから一番リスクの高いところで勝負したと。株ほんとうになったらおれわからんもん。正直おれはわからんときは玉止めてさ。こないだTさんからメールがきてさ、メールきたんやて、そのときに、「わかりませんね」みたいなこと言うもんやから、おれはHICを84%ぐらいの利回りあるから、っていうたら彼が「その84%っちゃんんのことかわからん」みたいなこと返してきたもんで、まゝそれをまたぼっかけたらう

かなっちゃうような感じやね。まあなんせいつもこういうぐあいやね、やっとなることが性格的に。

真田孔明：

NHICのレアル建てですよ？

北野会長：

レアルもおれの考えとすることはなんやゆうたら、今ねレアル28円50銭ほどやけど、28円ぐらいがど底で25円もあるがやて。25円ぐらいになったら利回り100%ぐらいになるんじゃないやねえ？
ね、ネギ焼きゆうたなかったけ？

店員：

ネギですか？エリンギじゃない？

北野会長：

これはエリンギやね。ネギある？

店員：

ネギあります、ねぎま、中ネギですか？

北野会長：

焼き鳥さっきなんか頼んだいわんだ？

真田孔明：

さっき豚肉だけ頼みましたね。

北野会長：

普通のねぎま。

店員：

ねぎま三つ

北野会長：

でもやっぱ億単位で株も金も儲かったら、仕事なんか逆にやっとなれんよ。

メンバー：

確かに（笑）

北野会長：

嫌な話やけど。こないだ経理士が「かなりよかったんじゃないですか？」ってにデータをプリントアウトして出したら、経理士がびっくりしとったからね。うちの嫁さんが経理士の先生に「今年はこんなもんじゃないですかね？」そんなこというたら、経理士の先生がびっくりしとったもん。今年はほ、辻斬りばかりやとったから。

真田孔明：

例年よりもちがうと、上がり相場のおきはちびちびやってるからですね。

北野会長：

そうそう。上がり相場はあんまし・・おれでもねはっきりゆうけど上がり相場彼のほうがきつついよ。おれはね、あんたほどマメじゃないし、火・木のゴルフに魚釣りいっとるやろ？ほでね孔明に勝ってやらんなと思ってね、ほったらゴルフ場やから運転せんならんやろうがいね。その途中でこう見とったら目えうろうるなっがね。

真田孔明：

いや、でもだからこそ塩づかないわけですよ。（笑）暴落で。

北野会長：

そうそう。だからもう上がったら、いくらでもええんがやて。

真田孔明：

その意味がわかりましたよ、今回で。

北野会長：

違ったところを見とるから。

真田孔明：

あ、飲み物どうされます？これでいいですか？すいませーん？

北野会長：

孔明さんビールでいい？焼酎でも飲む？あ、焼酎！で、芋！一杯！

真田孔明：

じゃあ一緒に。

北野会長：

なんか43年やってることは一緒やね。最近またあのマイナス金利になってさ、銀行がまた玉出しが増えるやろ？住宅ローンがコンマ9とか8ぐらいまで来とるやろ？住宅ローンが。だから我々の金利もそれぐらいまで落ちてくるんじゃないかな。だからそこが、玉引きをしてなんかいい

ものを見つけてこうなんか考えとったんやけど、どこへいくかさっき飛行機の中でだんだんだんだん考えとるやん。考えとったらお前、いつものワインの量で真っ赤になる。えーとリングが今利息何パーセントで回る？

真田孔明：

4%。

北野会長：

4%やろ？安く玉付けさせてさ、リングに入れるとかさ。いやあやっぱリングでちゃあそんないまわらんから、もっと他のもんで。でもジェイリートとかあそこらへんも金利が落ちとるから、ジェイリートみたいなやつも日本の不動産も上がるゆうても3,4%。だからあれも19年の終わりになるとあぶねえんやて・・・オリンピックが。そういうこともやっぱ考えとかんな。

真田孔明：

日本円は今後一回どんどん高くなっていきそうですかね？

北野会長：

何が？

真田孔明：

日本円は一回・・・円安になる前に。

北野会長：

円高に向かうゆうことけ？それはないやろ？もしそうしたらアベノミクス全部吹き飛ぶのとおんなじやから、そこはやっぱし今の所はデータベースからいくと、円安によって企業業績が上がってって、それは間違いないわけや。で、一般庶民が全然その恩恵はこおむとらんわけやないかい。こういうことを考えたら、まっておれの考えやよ。そんなに、そのアベノミクス、安倍さんがさ、もう一期やらんと思うとる先には、黒田さんもここで中折れみたいなことはちょっとやっぱい恥ずかしいやろ？ここでやっぱりふんばるゆうことになれば、どっかで200兆駆け出さなあかんのやて。

真田孔明：

いまだに200兆の話は消えてないですか？

北野会長：

いやいやいや、やっぱりどっかのタイミングで。

真田孔明：

200兆（笑）

北野会長：

そんないまさらね、マイナス金利にしたら・・・

真田孔明：

マイナス金利は準備かもしれないわけですね？銀行へ甘ったれた所をしないように、日銀に預けないように。

北野会長：

ただね、今うまいことゆうたけど、おれはそれが今度の一番でっかい今度のレースでないかなと思とる。今度玉ど一んてだしたら、だしたらどうなる？そこでさ、後手食うとでかいよ。そう思わん？いやいや、ばーんと銀行にだして「お前ら貸し付けせえ」言うけど銀行はそのリスクは取りたくないやろ？ほんで日銀に金返して0.1%取られんとならんということになれば、どうなる？

真田孔明：

取られるんですもんね。信用ある所にかし出すしかないですよ。

北野会長：

いや、信用の所も食う？相手が・・・相手が借りるかいうこと。相手が借りんと、銀行が今度、「コンマ1はしゃあないわ」と我慢したらやぞ、金は動かんわ、一般企業はもっと悪くなる。金が出んだら、絶対に円安ならんもん。これが一番おれはでかい争点やないかなと最近はおもとるんわけや。金はだしたけど、金は今まわっとらんやん現実に・・・ここはやっぱ考えなならん。それがおれこれでないかなと。

真田孔明：

株？

北野会長：

そう。だから株がさ、外人がこんだけうっとりや普通下がんだがいよ・・・下がらんやろ？日銀が金もとっからさ。「買い支えとけ」と、こうやっとならしたら・・・それでもあのおじさんまだ200兆印刷できるんやから200兆にはやっぱ無理だろう、かなわんとおもう。これ全部外人、玉持ってかれとるやつやからね。

真田孔明：

そうですね。売りかけてるのに上がっちゃってるわけですよね。売りが塩付いてるわけですよね。

北野会長：

そやろ？あんたたちどころの騒ぎじゃないわけよ。

真田孔明：

あれ1500万枚？1500枚でしたっけ？

北野会長：

1500万枚や。そんなのだからあれだけうっとうしても日本株は上がっていくんやと。

真田孔明：

あれで下がってないと、あいつら勝てないわけでもんね。寄付きの段階での1500万枚だから。

北野会長：

昨日も今日も。いやだから、あのおじさんは何すっかわからんわ・・・いやいや本当に。昔このバンコクで金融問題が起こったの知っとお？バンコクは債権がどうしようもなくなった。彼はここのアジア局長しとったわけや、黒田先生が。その債務全部日本の国がだしてあげたん・・・わかった？本当に怖いおじさんなんやて。変なおじさんじゃねえんやから。もう本当に恐怖のおじさんやであれば。だからやっぱ普通の人じゃないゆうことをおれはよく知ってるから、絶対に変やなと思ったら怖いから下がったらすぐ売ってしまう。いや、もっと下がるなと思うこといっぱいあるよ。でも儲かった時は叩き売ってやれと。脇あましてこんなでっかいたまに救われたらさ、いま外人がおれはそうやとおもうよ。ね？昨日その1500枚3000枚売った中でて思っとるんやてみんな。「今日は暴落やから莫大な利益や」と。

真田孔明：

全然日本がビクともしない。

北野会長：

ぐーっとこんなんあげられたら終わりやど。

真田孔明：

逆に言うとしわじわじわじわあがっていくから、なんか地獄みたいな感じですよ。

北野会長：

それはね、一番怖いのはこのじわじわとやられていくのがね。

真田孔明：

確かに。じわじわと下がっていくとね、なんか手仕舞いして・・・。

北野会長：

人間はおもてうらやからさ。おじょうさーん。まず冷房ちょっこれ一度止めてくれない？寒い、それとあとなんか食べるもの、なんかあったかいものは？すみません！なんかあったかいものは？

真田孔明：

あったかいのは豚汁。

北野会長：

豚汁はやいやろ？

メンバー：

(笑)

真田孔明：

あったかいのは肉じゃが？

店員：

モースリー、油そば、赤だし、豚汁

真田孔明：

豚角煮、あったかい？

北野会長：

あとじゃがいも、肉じゃがが。

真田孔明：

肉じゃがと豚角煮、冷えるやつが多いですね (笑)

北野会長：

やっぱそういう具合に分析をするんでない？おれの争点はね、日銀がもし無理してここで安倍さんを押した時に、お金が世の中にまわらん、それがたまり水になるようなきがするがやて。だからその時、会社がさっと借りて、例えば・・

真田孔明：

株に入れる。

北野会長：

いやいや株に入れるじゃなくても債権で回る、例えばリングに回しとくとかさ。

真田孔明：

ああ円安になったらね。

北野会長：

いやいやそれもでかい丁半あるがやて。銀行にはまだ銭返さんとさ、リングでもってたから、パンとこうリングで持ってけゆうてさ。いやでもあたったらでっかいからね。おれはこないだから、ブラジルレアルのあれ仕掛けたろうかなとかなり考えとったんやけど。30～33円ぐらいまでいって、28円ぐらいまで下がるとるやる？ね？ここでレアルを買って上がればでかいやる？

真田孔明：

そういう場合はFXで買うんですか？

北野会長：

いや、これはやっぱり現物の方がええやろ。

真田孔明：

現物で。ああ、かたいですね、やっぱり会長は。信頼では買わないと。

北野会長：

FXでやるがは、少量を玉かけといてやっぱ25円ゆう想定もあるやね。やっぱ資源大国やから、資源が売りや、油も安い。いま33ドルほどやる？そういうこと考えるとどう見ても情勢はそんなに良くないやろと、と思うんやて。ただリスクが8割あるゆうことは、28、25円まであるゆうことを一応想定しとらんや・・・リスクが。結構口が多いやけど考えとることは緻密なんや。細かいところこつこつ。これもね、ずっとね長年のくせやから。

真田孔明：

でも緻密だからこそ生き残れてるわけですよ。

北野会長：

いや、本当あんたがいうたのがおうとるかもしれん。本当はね、バ～ンというところけど、結構ねでかい博打は打たんがやて、でかい博打は打たんがやて。で、日掛け月掛け心がけじゃないけど、麻雀しとるんでも満貫でも二翻へ下げて上がる。なんなら一翻でもつもったからいいわゆうタイプなんやて。そういうとこがなんかでとるね。いや病院の先生もそういう。君が生き残ったのは。四翻で満貫で上がる手でも、一枚の牌掴んでもただ一翻やゆうて上がっていく。ここがやっぱきつつい。要は上がるっていうとこがきつつい。人間普通はそれはできん。

真田孔明：

特にウンボさん・Oさん・この僕のこの三人はいつもすごいので上がろうとしちゃう、特に。

北野会長：

低め低めで上がるとね、やっぱ全部のトータルとしてはねやっぱきつついもんやね。

真田孔明：

いやもう死んじゃいますよね。そうやってやっていかないと。

北野会長：

全部大きくまとめようとするね、やっぱムリ、ムダ、ムラが発生するがやて、いやおれの人生から見るとやよ。だから会社でも倶楽部の会員さんにも「9-8=1や」と書いてあるやろ？

真田孔明：

いや会長の言葉です。

北野会長：

こう言うように全てがおれはそんなんや。だからマンション経営やったら、例えば68戸入ると。こんだだけ売上あると。借金はこんだだけあるからちびちび返しとる、そこを常に対比で見とる。給料とって返済財源を必ず確保する、ここね。返済財源を必ず確保すると。これさえやるときゃね、絶対企業ってのは倒れんがちゃ。孔明さん、昨日やったかね？かみさんがいっとったやけどね、なんか掛け算と割り算とこうなんかいっぱい決算書に描かんとか、ちごうやてあれはね、売上あるやろ？経費や、引くだけの。だから引き算さえできれば、掛け算も割り算もルートやらね、そんな難しいこともっといらんのやて、ただ引くだけ。引き算だけであれば、銀行借金だけ増えるわけはねえ。おれみたいなやつもいるわけやから。借りてもなるべく返さない、どんどん借りた金で金持ちになっていくタイプやがね。

真田孔明：

引き算だけでいいんですね。経営者って。

北野会長：

経営者は引き算だけでええやろ。

真田孔明：

経理士が他はやればいいんですよね？

北野会長：

いや本当よ。これさえねこの一言わかつとればね、絶対に会社は赤字にせんとってもねサイクルできるんやて。ほんでこれね、孔明さん一番わかつとる。これ9から引く10にするとマイナス1になるがやて。こんときは、下の10を7にせにゃあかん。どうすれば7になるかをしっとればええんやて。例えば給料とらんだら7になるんやろうし、いらんもんは翌期に飛ばす、すぐ黒字になる。あとは今回の件で良くわかったんやけど、退職金をとると銀行の支店長に言えばおれと嫁はん二人で1億6000万とると。だから会社ちょっと赤字になるよと。「いやあ会長そんなの関係ないですよ。帳簿に出てくるんでしょ？」いうから「退職金だから帳簿には出るわな」みたいなこというたら「それは大丈夫です。銀行から見たらそんないっぱい退職金払うて会社赤字になってもなんの問題もない」って。

真田孔明：

そうなんですか？退職金は。

北野会長：

ほいでまた追い討ちかけてさ・・・

店員：

肉じゃが。

真田孔明：

あ、お茶、すみません、お茶。

北野会長：

あんたホットのお茶飲んだ方がええよ。寒ねえ？嫁が言う6ヶ月の生まれた子供じゃまだこんなほどしかないんやと。そんなもんにあんた腹たてとってもおかしいんやからいうていわれりゃ、僕はまだ43歳やけど、ちょっとまずかったなあと。こないださ、なんかそんなこと聞いたやん一回みんなに、どうや？ゆうたらさ、みんなシーンちしちよった、あん時本当に、これ一体ハワイから一生懸命あの大きな声を張り上げて演説会やとったがに、やっぱ教え方が下手やったんやな、こないだ本当そう思ったちゃ、やっぱ教え方が。でほ、自分ではなかなかそんなことおもったらんやろ？わかる？こう、こうやってきとってさ、上斬りはゆっくり、何万でもええんやと何十万でもええんやからと。ほっでずっとでかいところばっかみろうとでかい山を、山をとるっちゅうもんかさ。

真田孔明：

でも会長確かにおっしゃってましたよ。ね？薄切りだとか白波の後ろの白いところだけを切ればいいって、そこの意味がでもね、こうやって経験してみないと、上がってっちゃうとなんかどうしても。

北野会長：

山をつかまにゃいかんちなことも一生懸命ゆうとったけど、あん時は山ねえんやねかい、上がったる相場やから。でか山もないし。ハワイの時になんとなく一つおれはほお、一発空売りかけとるから、だからハワイではもうこういう波が来るよみたいなことさ、一生懸命ジェスチャーはやってきたんやけど、まとまらんだの。孔明さんその波終わってからば一んとさ。

真田孔明：

逆にいっちゃったと。難しいですよ、あれね。下げ相場とるの難しいですよ。多分でもいまから売るぞって言っても毎日怯えてるんでしょね・・・毎日あがってて。

北野会長：

いやだから外人はひどいやろうね。こんだけの売りかけてさ、相場はあがってったらさ本当にね、これ地獄やぞ、これ。首釣ってってだんだん高のロープが巻かれとるみたいなもんやんな。これね一番怖いのは、下でロープまくやろ？それで締まってくるやろ？怖いもんでロープをきるやん、精算するがやて。そしたら株ちゃどうなるかてどかーんて上がるんやて。

真田孔明：

へー。

北野会長：

売りで手仕舞いするがやから。もう買い一色や。売り手仕舞いするっちゅうことは全部買わんな、そやろ？買いと買いがぶつかったらどういうことになるかゆうたら1000円ぐらいのアップダウンになる、一発で。昔やっぱね外人が、売りかけたんやて。あれ、あれは有名な事件でね。日本人が戦争に勝ったみたいに昔ゆうことが。1日2000円も上がるんやから、ダウがやよ？あれなんちゅうやつやったかな？そういう団体がおったんやて、それも最後はつぶれてね。消滅していったけども。すごいのがおるやろ？でも今日の日経を飛行機の中で読んどったらさ、なんやっただけ150円のシャープの株の時価総額が2500億ぐらいなんやと、ね。なんかそんな日経にでとったやわいな。んで、買った人が3倍の7500億ほど出したらホンハイやっただけ？あれ全部あれでいただきやぞ？あれ資産も、持っとる資産あるやろ？研究したデータあるやろ？店舗あるやろ？いやかなり外国にもあるやろが。で、シャープゆう看板上がとるやろ？あれ全部ホンハイのものになったわけやろ。あれが、2500万と7500万やったらどうすっかち？いやいやシャープが7500億やから関係ないような気がするやろ？でも社長あんたが2500万持っとって7500万やったら銀行からやっぱり7500万借りて買うやろがよ。おれはだからそういうことゆうとるんや。人間ちゃあねそういうことあるがやて。わしらだからマンション持っとったり、ショッピングモール持ったりするがはそういうことなんや。たまたまそういう売りもんがでてさ、それを銀行にゆうたら、いや社長とっといってくださいよみたいなこと言う。ここが一番問題なんやけど、これぜったお覚えとって、これねキャッシュをめいいっぱい引っ付ける。キャッシュで買うが。そしたら銀行は一気にこっち向くがやて、わかった？そやろ？当然。普通ならさ2500持っとって7500、残り5000貸してくれんかいうのが普通や。これをキャッシュでパンとつけるがやて、そうすると銀行は一気にこっちを見るがやて、わかる？「あ、なんやあの人金いっぱい持っとったんや！」と思うんやて。そこで一気に寄ってくるんやて。そこで金利を叩いて、お前からもお前からもお前からもうて、とれば一緒のやちゃ。本当は一緒のは。これ絶対覚えとかれ。

真田孔明：

先にその現金持っていないといけないわけですよ。

北野会長：

そう。だからこれを正しく三味線を引くゆうがやけど、三味線。先に三味線を引くんがやて。

真田孔明：

残像剣みたいなものですよね。

北野会長：

これね銀行が一番引っかけやすい。

真田孔明：

だからその何倍も借りられちゃうわけですよね？その時に。

北野会長：

そうそうそう。だからそこのこのハッターがでかいわけやないか。やからホンハイやって絶対に台湾の銀行が下手すりゃ国まで嚙んどるよ。

真田孔明：

国まで目をつけてるわけですよね？あそこ。

北野会長：

国からも、国へ例えばさ、私シャープを買おうかなと思っとるがに銀行にもさ、皆さん少し応援団でどう？みたいなことゆうてさ、国にも日本の企業を・・・

真田孔明：

ね。初ですよ、あんなの台湾の企業が。

北野会長：

そうやる？こういう持ちかけとってみいよ？

真田孔明：

あんな金すぐに集まっちゃう・・・

北野会長：

そうやる？おれが言いたいのはそこを言うとのわけよ。

真田孔明：

意味があることなんですね。

北野会長：

そしたら、あんなちっちゃい台湾が、あの日本の一流企業をとったと。こうなるわけやないかい。そしたらみんな一斉に行こうぜ！と、こういう勢いにならん？

真田孔明：

もう国ぐるみでね。

北野会長：

だから人間の気持ちなんてのはそういうもんや、簡単に動くんやて。だから台湾の姉ちゃん達みてみいおまえ「あ、いいことじゃないですか？」みたいなことでみんな、そやろ？一般人が、一般の女の子が「いいねいいね」いうとんだから。だからあなた達の人生には一番ね、いい薬になると思うんやて・・・そやろ？だから孔明がいう投資ファンドいうちっちゃいような話じゃないよ？そやろ？いやいや苦労してその部門が好きであれば、あんたみたい下にネットの人がたくさんおって、こうみんな例えば、金持ちもだいぶでてきて、こんな話で玉集めてやりましよう、いかがですか？いうてしっかりした会社やってみいよ。150円の株なら「孔明さんおれ、1億5000万ほど玉入れっから頼むよ」ゆうて、ゆう人がいっぱい現れてくっかもしれないやろ？いや、「Oさんは300万株なんか孔明さんところからかったみたいですよ」「じゃあおれも！」と。こうなったら終わり、今と一緒にことなるんや。人間っちゃあねそういうとこの数字には弱いもん。だから踏ん張りが利かんようになっとるわけや。だからそういうのでおれみたいJALで、今日JLのってきたけどJLで騙されるゆうことがあるわけや。

真田孔明：

でもJLもう乗らないって（笑）

北野会長：

いやもう乗らないっておもっちゃったんやけど、ちょっと時間帯がね11時の時間帯やったらどうかアッコらへんしかねえんやった。

真田孔明：

あーJLバックで。

北野会長：

本当ね、そういうのはねものすごい人生には大事なことや。だからどういの？人に対する恩義、義理と人情ちゃあさ、持っとると与えたもんは忘れて、与えられた恩義は忘れたらあかんゆうて昔から言葉あんだかいね。それと同じことや。だからファミリーつつもんかさ、腹のおうた人を、いい友達持っとるゆうことはそれだけちごうゆうことやて。ただ、やっぱほ、今わしの人生こうやってみても、友達が友道を裏切らんかいうたらそういうこともいっぱいあった。一番いいのはね自分だけで玉をつけれりゃ一番いい。あとはやっぱそういうしっかりした人が、もし周りに居れば、それに勝ることは絶対にない、それに勝ることは絶対にないよ。わしはいつもだからそう、わしはやっぱ友達と手組むのは好きじゃねえんやておれは。

真田孔明：

あー共同でなんかするというのは？

北野会長：

それはね、なるべくせんようにしとるんやて。んでね、人は、どういかな、人っちゃあさきつ
ついように見えるけど、去年は良かったけど今年悪かったりさ、こういうことがあるんがやて。
だからやっぱ、なるべく人の話には乗らんつうかさ、「こんな話あるんやけど」って聞いたら
いい話なんやて。ところが裏切ることはないやろとおもってもその人がちょっと次の年弱い
立場に入ると、やっぱ裏切ってくるがやて。だからやっぱそういうことはやっぱ氣い付といた
ほうがいい。だから孔明が1億7000万じゃないけど、結局ああやって溶けてくんやて。

真田孔明：

私募ファンド系はほぼ溶けましたね、全部。

北野会長：

いやいや、全部そう。あのね、わし友達なんかもたくさん見とるんやけど、おれは絶対こうい
うことしたくないから最後まで見とるんやて。金は最初から溶けてく金でないかなと思って捨
てたつもりで出した銭っていうのはね本当にね、戻ってこん。株ならねまだね、買った株は下
がって価値があるんやて。

真田孔明：

まだありますね。

北野会長：

でもあのね溶けた銭はね、跡形もなくなるちが。

真田孔明：

そういうのばっか求めてましたね。

北野会長：

いやいや本当に、これだからこの話きた時に、預かった金で運営するっちゅうのが一つある。
そういう話嫁にきとったんやけど、あんたあやっぱそんなこと絶対せんほうがいい。

真田孔明：

やっぱり奥様の勘もするどいですね。

北野会長：

いやいやそなんやど。はい、ゴメンなさい。はいはいってなもんでさ。

真田孔明：

奥様も前に見させてもらいましたけど、天から降ってくるタイプでしたよね、会長と一緒に。

北野会長：

あ、ほんと？

真田孔明：

そうです。直感とあれで、すごいですよね。

北野会長：

やっばおれね、どんな話でもとりあえずするが。あんたやめといたほうがいいわみたいなこと
ゆうたら、なぜかねおれも内気内向的な成果手えたさんがね。

真田孔明：

ああそれが大抵あってるんですね。

北野会長：

うん、なんか言われて失敗したらいややろ？毎日家でさ「私いっとおがにあんた失敗したんだ
がいね」言われとおないがね。おれからいうと。別にそんな手をださんでも食っていけるんや
から。おれいつも、俺のね、いいとこかやなとこかは別として、いつもそんなんやて。おまえ
そんなん止めといたほうがいいわて。ほんな言われたらなんとなくね、なんとなく引っ込むん
やて、その一言でいつも引っ込む。

真田孔明：

会長が最初に大きく当てた後とか、そういう話っていっぱいきたと思うんですよ、昔。当てた、
億とかどーんと当てたりすると。その時も手出さなかったんですか？

北野会長：

手えたさんだね。

真田孔明：

すごいですよね。そこでみんな見てるとそこで手えだしてボーンですよ。（笑）僕もサラリー
マンの時にちびちびとそういうの一切手を出してないんですよ、もう本当に真面目に株とか為
替とかいかやってなかったのに、独立起業してバーンと入ってくるとバーンと行っちゃうよう
になっちゃって。

北野会長：

それはね、初めて掴んだ銭ちゃね、やっば自分にとって軽いんやちゃ、だからそういう失
敗・・・

真田孔明：

なんかまだ稼げるんじゃないかなみたいに思ってて・・・

北野会長：

そうそう。おれねはずかしい話やけど、金ってさ一切触らんから、会社の金絶対触らんから。いや例えば会社の、JALの切符買うてモンテーンのこうやととるよ。これ会社の経費やろ？

真田孔明：

はい。

北野会長：

会社の小切手をおれが切って持ち出すとかさ、会社の現金をおれが触るとかそういうことは絶対にせんが。

真田孔明：

誰か娘さんとかがやられてるんですか？

北野会長：

そうそう、ほとんど嫁と娘達が金の管理をしとる。そうせんとね、どういがか。最初会社の立ち上げは全部おれがやってたんやど・・すべてのことを。ところがいまはもう、2,3年しとったがかね。なぜかというね、やっぱ周りがそういう大損な先輩達を見すぎたちゅうもんかさ、そりゃ自分で小切手もったりさ、財布の中にお金ないとね、絶対に貸すこともできんし、無駄遣いもせんから。

真田孔明：

出資とかもできないし、出資する時に奥様に相談しないといけないという。これを一億円支払わないといけないんだけどどうかな？っていう（笑）

北野会長：

それはね昔ほ、調子がいいとさ保険屋さんとか水商売の女が付いてくるが。じゃあさ「わるいけど私が店開くまで保証人になってくれ」とか、そういう話くるわけよ。そりゃどうやって断ろうかなと思って考えとったんやて。賢い男やから。これね一番わかりやすい単語があるんやて。「いやぁおれ会社の実印は全部うちの嫁はんが持っとるから」この一言。ただの一人も保険屋も、水商売の姉ちゃんもいかんがね。夜寝てもいかんが、なんでかしとぉ？やっぱいは嫁はんっちゃ嫌なんやて、女同士やから。騙しに来とるやつやから。おれあん時に「そうか、金貸してくれいう話あってもいやぁおれ金あつかっちょらんから、じゃあおまえうちの嫁はんここにいっぺん相談に行ってきたくれ」男の友達でもただの一人も来んよ・・わかった？嫁はんやゆうたらはいわ、本当嫁はんは、飲み仲間でもなんでもないやろ？そんなん当然銭借りに行けば軽蔑の眼差しやぞ。

真田孔明：

直感も優れてるし。

北野会長：

電話かかってきても「あんたそんな頼みごとあるんなら事務所来られ！」バーンて切るがやか
ら。あっちの女もなんか危なそうな、ところに行くのはいやちゅうみたいな感じでさ。その時
きたもんおらんが。

真田孔明：

電話した人はいるんですか？

北野会長：

した人はおるけど、あとはだれもこん。あ、あの〜いくらか貸してくれたってくれゆうて、で
嫁はん断ってさ、おれが嫁に頼み込んで、こっち系やしいっぺんだけ、一回だけでいいからゆ
うて。でもあんたちゃんと何月何日に持ってこられ！ゆうて。ゆうたらそれがねこっちに残っ
とるから、二度とは絶対におまえのところは借りにこん。これはだから女っちゃ強力っちゃ
ね。つええんや。女に無視されると、男っちゃんなんかバカにされて、ドブネズミのように思う
とう。

真田孔明：

Oさんもだって、稼いだ金よりも出資して使った金の方が多いんじゃないですかね？最近？

メンバー：

まあ付き合いで出したのはほとんど溶けてます。

北野会長：

そうやる？おれね、おれの人生で一番すごいのはそこやちゃね。昔からこうやったから、それ
がねえんやね。だからおれの人生の一番の怖いところは失敗がない。年行けば行くほど慎重に
なるがちゃ。若い時から失敗やったかいよ、本当にね溶けた金がねえんやから、オレには。

真田孔明：

マックスがJLなわけでもんね。

北野会長：

いやいやあれは9000万ほどの銭やったから。でも何億儲かった中の9000万やったからおれも
瓶持ち上げたりさ、「バカヤロー」ゆうたりこれパフォーマンスやから。やっぱ結局脇を固かつ
たから本当はほ、一番でかい銭はとっとるわけやないか。

真田孔明：

ユンボさんもおそらくこれから激しそうですよね。

北野会長：

あのねやっぱね、金儲かって金自分でもっとととさ、ついつい「まあこれぐらいなら友達やし」とこなるんやて、ここ一線さ。例えば「孔明ちょっとつらいしさ、おまえちょっとなんかしてくれんか？」ゆうて。で、孔明が「じゃあうちがあんたうちの奥さんしっとっからあんたいっぺんおうて話してきて、おれ金扱っとらんから」ゆうて、おれいかんよ（笑）やる？女に頭下げてさ、そこっちゃあすんごい難しい線なんやちゃ・・このね線ちゃねでかいよ。

真田孔明：

会長それを最初っからこうならないでできてたのがすごいですよね。儲けた後で。

北野会長：

いやおれはね、でもなんか最初からあっちがもう管理にかかってたからかもしれんしさ。おれ本当ね、そんな銭のほとんどね、でかいのが9000万ほどで、その先生たちの判断ミスっちゅうぐらいで、そんな金貸してっていうことがそんなないもん。

真田孔明：

出資とかそういうことですよ。これどうしますか？

北野会長：

もういっぱい飲もうかな。

真田孔明：

すいません。もういっぱい焼酎。

北野会長：

そういうのが今となってはいい思い出みたいなもんでさ。でも最近なんとなく、孔明さんのおかげでさ、あんたたちみたいな若い人と会うやろ？だからやっぱなんかいいよね、なんか体にいい（笑）体にいいちゃ。いや老人ばっかでね酒飲んどったらね、なんかしみったれになるんやて。

真田孔明：

みんな体の故障の話ばっかになって（笑）

北野会長：

そうそう。いや脳梗塞やらガンやら膝が痛いやら腰が痛いゆう話ばっか来とったらほんとうにつら一なるよ。やっぱ40代の人と話しとるとね、やっぱなんか違う。自分は65なんやよ。でもやっぱ40代ちゃやっぱ40代のエネルギーを持っとんやてきと。

真田孔明：

30代と20代も一名います。

北野会長：

ほっでね、もう一つこうやってね株の話しだしたやろ？ついこないだまで、「銭なんて・・・」ねおもっちゃたんよ。それがまたね銭の欲が出てきた。やっぱほ、失敗したら若い者に示しがつかんみたいなもんでさ、こう言うようになったらちょっとやっぱなんでも真剣に考えるようになった。いや本当それはねすごいなんか俺の体にとっては。だからゴルフしとってもなるべくあるかなならんとかさ。そういうこと思うようになった。だから若い者に付き合うということも結構。もう65になったらみんなもう死んどんじゃね？だんだんとかう65歳のワシを見てまああの人とはわしら会った時65やったよね、エネルギーやっとなと、こう思えるような人間におらんと。

真田孔明：

65歳でここが立てるということ自体がすごいと思うんですけど。

北野会長：

そう？

真田孔明：

普通、縮むんすかねそういうの。

北野会長：

いや、わしの知り合いはやっぱみんなね死んどるよ。

真田孔明：

死んでるんですよね？やっぱね。

北野会長：

おれはやっぱ好きでやってるせいかな。

真田孔明：

生命力が多分ちがうんですよね。腎臓の力が。

北野会長：

あ、腎臓？それも腎臓かな？

真田孔明：

腎臓ですね。

北野会長：

なんか孔明と話しとったら、だんだんなんやらの門やら肝臓と腎臓キツイから大丈夫やとか
みたいなことゆうたりさ（笑）何時になった？

真田孔明：

9時37分。

北野会長：

ちょうど今頃ぐらいやろ？お愛想して。

真田孔明：

はい。すみません。

北野会長：

ま、人生は長いからさ。あんたたちずっと人生は長いから大丈夫。